

Leverages

【アジャイル支援SaaS】レバレッジズ、スクラム開発のための業務効率化支援ツール「Agile Effect」をリリース

【2024年6月末まで完全無料】エンジニア組織の生産性最大53.2%UPを実現

レバレッジズ株式会社は、スクラム開発のための業務効率化支援ツール「Agile Effect(アジャイルエフェクト)」(<https://lp.agile-effect.com>)を2024年4月1日(月)にリリースしました。



The graphic features the Agile Effect logo (a colorful 'X' shape) and the text 'agileeffect PRODUCED BY Leverages'. The main headline reads 'エンジニア組織の生産性UP!' (Increase productivity of engineering organizations!). Below it, it says 'アジャイルな組織に必要な Agile Effectリリース!' (Agile Effect release, necessary for agile organizations!). To the right, there is an illustration of a person interacting with a large circular diagram representing the Scrum process (PLAN, DESIGN, DEVELOP, TEST, DEPLOY, REVIEW). A speech bubble indicates '1分で導入可能' (Possible to introduce in 1 minute). The background is decorated with colorful diagonal lines.

■「Agile Effect」サービス概要

昨今、ソフトウェア開発を進めていく中で「アジャイルを進めたいけど、今の業務の進め方を大きく変えることができない」「アジャイルを進めると、進捗状況を定量的に把握することが容易にできない」「チームの課題の発見や改善策を見つけるための判断材料がない」といった課題があります。レバレッジズは、その課題を解決し、エンジニアの生産性向上のために、アジャイルのフレームワークで最も一般的に使用されているスクラム開発のための業務効率化支援ツール「Agile Effect(アジャイルエフェクト)」を開発しました。

実際に社内で導入した結果、いずれのチームもパフォーマンスが向上し、中には53.2%向上したチームもありました※。具体的には「ベロシティ分析」でチームの作業速度を可視化することで振り返りを効率化し、「バーンダウンチャート」で日々の進捗度を検査し、迅速な進捗把握、柔軟な調整を可能にすることからスタートしました。これらの機能により、スクラムチームはスプリント

計画の精度および目標達成思考性が向上し、組織内に潜む未解決の課題を明らかにし改善策を講じながらPDCAのサイクルの高速化を実現することに成功しました。

※「Agile Effect」導入前と比較した際の平均ベロシティの増加：(導入前)12.000/(導入後)18.384=153.2%

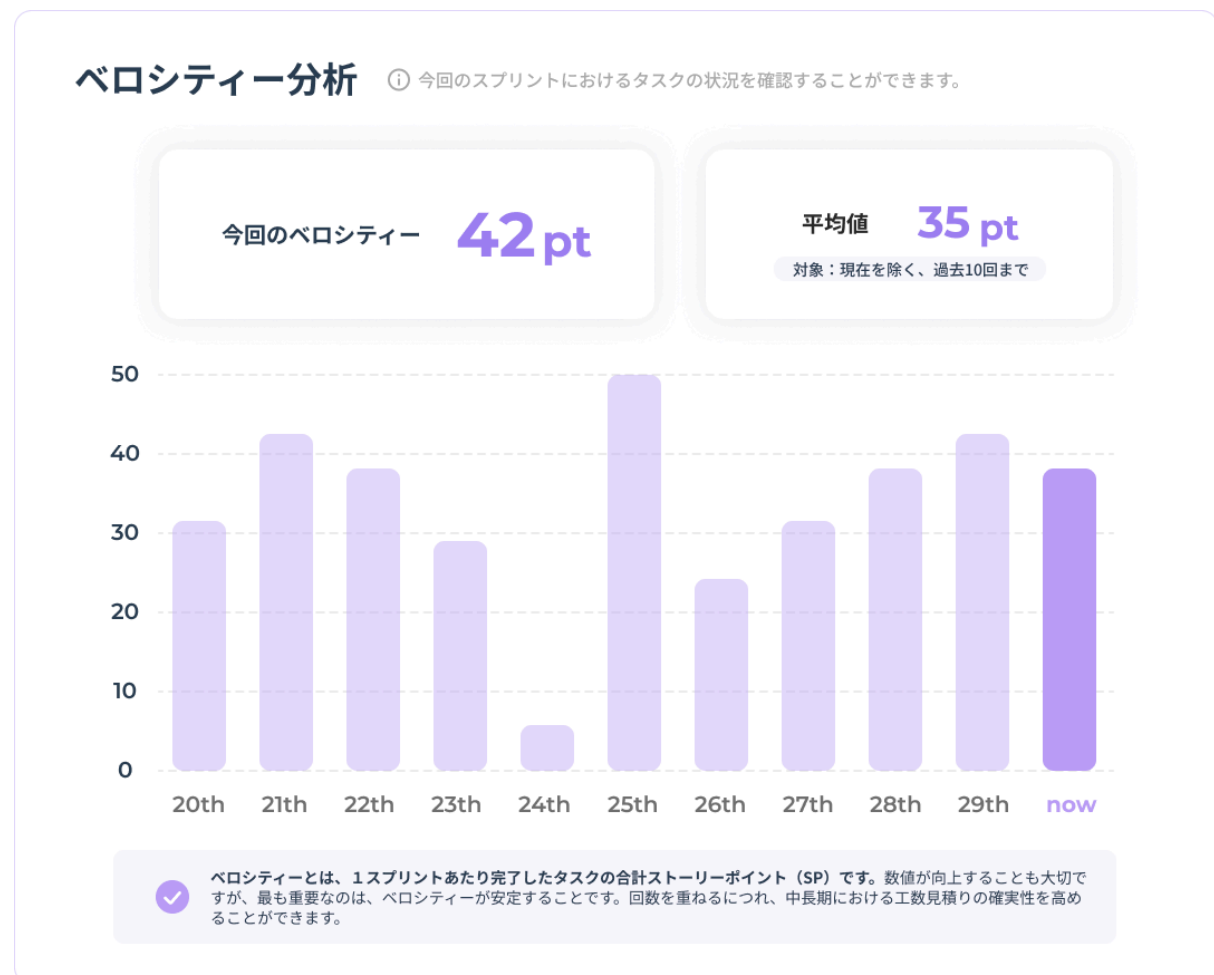
「Agile Effect」は、アジャイル思想に基づき、スクラム開発を効率化・自動化・指南する機能を提供します。今後は開発プロセスはもちろんのこと、組織全体のアジャイル化を促進し、多種多様な業種や業界の生産性向上を支援する様々な新機能を増やしていく予定です。

「Agile Effect」は、日々めまぐるしく変化する皆様の事業課題に向き合い、「Agile Effect」もまたアジャイル的にシステム改善を行いながら、ユーザーの皆様の課題解決を支援し続けます。

■「Agile Effect」の3つの特徴

・生産性の安定度を測定するためのベロシティ分析

「Agile Effect」は、時系列順にベロシティを可視化します。ベロシティとは、スクラム開発におけるチームの生産性を示す指標であり、1スプリントの作業量の合計です。これまでのベロシティと比較することで、生産性の評価が可能です。ベロシティを可視化することで、生産性が安定していないことの原因分析や、次回以降のスプリント計画に役立てることができます。



・多機能なバーンダウンチャートで、最新の進捗状況を常に見える化

バーンダウンチャートでは、チームの進捗状況を定量的に表示します。これにより、進捗度を検査し、迅速な進捗把握および柔軟な調整を可能にします。また、プロダクトオーナーや事業責任

者に、リアルタイムで進捗状況を共有できるため、進捗報告資料を別途作成するといった「仕事のための仕事」を大幅に削減することができます。

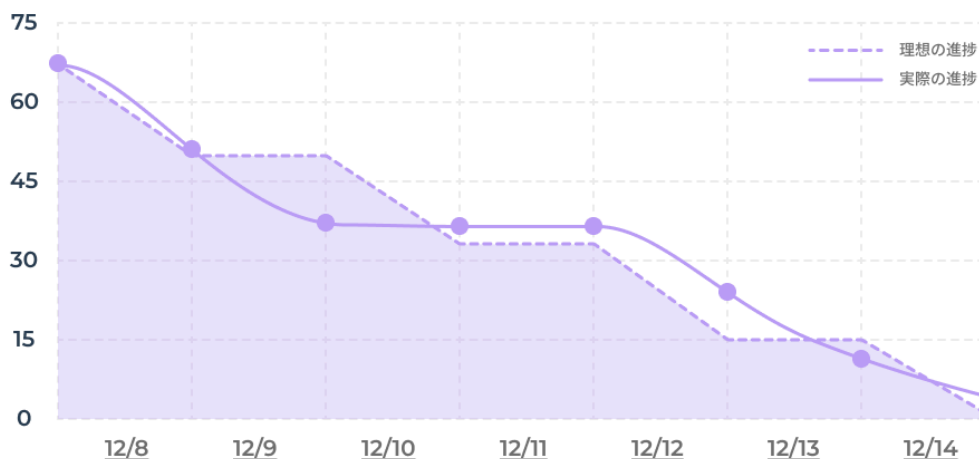
バーンダウンチャート

① 対象期間における、残り作業量の進捗を確認することができます。

スプリント達成率 **96.50%**

現在の進捗 **49 / 51 pt**

スプリント計測開始時【48pt】



縦軸に「作業量」、横軸に「時間」を割り当てることで、対象期間における残りの作業量をグラフで表示しています。日付をクリックすると、その日におけるタスクの詳細状況を確認することができます。

・詳細なタスクダイアログで、チームの生産性を向上

バーンダウンチャートとチームが実施したタスクの更新履歴を紐付けて日ごとに管理します。これにより、当日発生したタスクの追加、完了、削除のログを確認することができます。各タスクの進行状況の変化をリアルタイムで把握・調整することができるため、突然メンバーにかかる過剰な負荷を回避できます。



概要

完了タスク

追加タスク

削除タスク

◀ 2023/12/10時点 ▶

タスクの詳細状況

2023/12/10時点のタスク状況の内訳をストーリーポイント単位で確認することができます。
数値をクリックすると、その状況にあるタスクの詳細を確認することができます。

完了したタスク ☺

15pt



追加したタスク ☕

3pt



削除したタスク ☹

2pt



アクティビティログ

2023/12/10時点のタスク操作の履歴を確認することができます。
タスク名をクリックすると、タスクを管理しているシステムに遷移します。

タスク名 ≡	ログ詳細
アルゴリズム実装	担当者を「Robert Wilson」から「Micheal Jordan」に変更しました。
通販におけるマーケティング戦略	ストーリーポイントを「1」から「2」に変更しました。
先月の経費精算	「3月のタスク分配」から左記タスク名に変更しました。
デザイン制作	「進行中」から「完了」に変更しました。
フロント画面の実装	新しく追加しました。
社内セキュリティチェックの実施	削除しました。
データベース構築	完了しました。

■ Agile Effectの今後のアップデート機能

・各メンバーの進行状況を可視化することで、迅速かつ柔軟な調整が可能

進捗状況を全体もしくはメンバーごとに把握することができます。これにより、現状で誰がどのくらいの作業量を持っているかを一目で確認することができ、進捗遅れの発見やコミュニケーションのきっかけを作ります。

タスク状況

📌 今回のスプリントにおけるタスクの状況を確認することができます。

👤

All      

すべて 72SP 未着手 40SP 進行中 40SP 完了 40SP

ステータス	担当者	タスク名	SP
未着手	山田花子	アルゴリズム実装	12
進行中	工藤 浩太	通販におけるマーケティング戦略	12
完了	佐々木 優希	先月の経費精算	12
進行中	小野田 美智子	UIの実装	12
進行中	安田 かおり	社内セキュリティーチェックの実施	12
進行中	進藤 すずむ	データベース構築	12

・各メンバーの実績を可視化し、振り返りを効率化

スプリント開始時に計画した目標に対する実績やパフォーマンスをメンバーごとに表示します。スプリント終了時にこの結果を振り返ることで、各メンバーの目標の修正や具体的な問題の発見を効率的に行うことができます。また、過去の実績データと比較することで、各メンバーの成長過程を可視化できるため、メンバーのモチベーション向上や、リーダーは1on1などにより、各メンバーの成長支援を効果的に行うことができます。

実績の振り返り

📌 今回のスプリントにおけるタスクの状況を確認することができます。



All



スプリント達成率順

実績順

稼働効率順



山田 花子

平均ベロシティ 8.5
平均稼働効率 2.1

スプリント達成率
100%
(前回: 98%)

実績	稼働効率
10.0	2.3
前回比 +0.00	前回比 +0.10
計画時	最終目標
8.0	10.0
前回比 +1.00	前回比 +0.00



工藤 浩太

平均ベロシティ 9.0
平均稼働効率 2.0

スプリント達成率
90%
(前回: 98%)

実績	稼働効率
9.0	2.4
前回比 +1.00	前回比 +1.20
計画時	最終目標
8.0	10.0
前回比 +10.0	前回比 +0.00



佐々木 優希

平均ベロシティ 10.5
平均稼働効率 3.0

スプリント達成率
85%
(前回: 98%)

実績	稼働効率
10.0	2.1
前回比 +2.00	前回比 +2.50
計画時	最終目標
7.0	12.0
前回比 +10.0	前回比 +0.00



小野田 美智子

平均ベロシティ 6.0
平均稼働効率 3.0

スプリント達成率
77%
(前回: 98%)

実績	稼働効率
8.5	1.9
前回比 +2.00	前回比 +0.10
計画時	最終目標
6.0	11.0
前回比 +1.00	前回比 +0.00



安田 かおり

平均ベロシティ 5.0
平均稼働効率 3.0

スプリント達成率
72.5%
(前回: 98%)

実績	稼働効率
7.25	2.0
前回比 +1.50	前回比 +0.10
計画時	最終目標
5.0	10.0
前回比 +1.00	前回比 +0.00



進藤 すすむ

平均ベロシティ 6.5
平均稼働効率 3.0

スプリント達成率
60%
(前回: 98%)

実績	稼働効率
6.0	1.9
前回比 +2.00	前回比 +2.30
計画時	最終目標
6.5	10.0
前回比 +1.00	前回比 +0.00

■ ご利用料金について

1社でも多くの企業やエンジニアの方々に、生産性の向上を感じていただきたく、「Agile Effect」は2024年6月末までサービスを無料で提供します。

詳しくはサービスサイトをご覧ください。

▼ サービスサイト

・<https://lp.agile-effect.com>

■ 法人お問合せ先

・電話番号: 090-9147-7175

・メールアドレス: agile-effect-admin@leverages.jp

Leverages Group (<https://leverages.jp/>)

本社所在地 : 東京都渋谷区渋谷2-24-12 渋谷スクランブルスクエア24階 25階

代表取締役: 岩槻 知秀

資本金 : 5,000万円

設立 : 2005年4月

事業内容 : 自社メディア事業、人材関連事業、システムエンジニアリング事業、M&Aコンサルティング事業、ASP、SaaS、クラウド関連事業

社会の課題を解決し関係者全員の幸福を追求し続けることをミッションに、インターネットメディア・人材・システムエンジニアリング・M&A・不動産の領域で国や業界をまたいだ問題解決を行なっています。2005年に創業以来、黒字経営を継続し、2022年度は年商869億を突破しました。各分野のスペシャリストが集うオールインハウスの組織構成と業界を絞らないポートフォリオ経営で、時代を代表するグローバル企業を目指します。

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレッジズ株式会社 広報部
TEL: 03-5774-2900 MAIL: pr@leverages.jp